

# 9月1日は「防災の日」です

## 自分の身は自分で守ろう

毎年9月1日は「防災の日」です。地震に備え、家庭や地域でもう一度、地震対策について考え、日頃から準備・点検しておきましょう。

また、災害時はすぐに救助や救援が来るとは限りません。最低でも3日間は自力で生活できるだけの備えをしておきましょう。

### 身の安全を守る

- 地震の揺れを感じたらあわてずに身の安全を確保しましょう。
- テーブルや机の下に入る。
- 座布団などで頭を守る。
- 冷蔵庫、ピアノ、食器棚、タンス、本棚等から離れる。
- 乳幼児や高齢者の安全を守る。

### 出口の確保

玄関ドアなどは、揺れで開かなくなり閉じ込められることがあるので、扉や窓を開けましょう。

### 火災の防止

ストーブ、風呂など使っているすべての火を消しましょう。タバコや線香などの小さな火も忘れずに消しましょう。ただし、いきなり大きな揺れを感じたときは、むやみに動く危険があるので、ある程度揺れがおさまってから消しましょう。

また、テレビやアイロンなど電化製品による火災や漏電による火災が多く起きています。避難するときは、必ず電気のブレーカーを切りましょう。

### 出火を発見したら

もし、火災を発見したときは、「火事だ！」などと、大きな声で叫び他の人に知らせ、必ず119番通報をしましょう。また、消火活動は初期消火が重要ですから、通報後すぐに、消火器やバケツ等で初期消火をしましょう。

### 津波に注意

地震が起きたら次に来るのは津波です。海岸や海岸付近にいるときに大きな揺れや、小さくても長い揺れを感じたらまずは高台に避難しましょう。

また、津波が来るのは一回だけとは限りません。津波警報や注意報が解除されるまでは海岸に近づかないようにしましょう。

### 防災会議を開こう

いつ起こるかわからない地震に備えて日頃から家族で役割などについて話し合っておきましょう。

また、家族が離ればなれになったときの避難場所や連絡方法についても話し合っておきましょう。N.T.Tの災害用伝言ダイヤルは連絡手段として有効ですのでぜひ活用しましょう。

### 防災訓練に参加しよう

いざというときに、あわてず行動するためには、普段からの訓練が効果的です。地域で行われる防災訓練には率先して参加しましょう。また、参加をしたら、見学者にならずに進んで体験してみましよう。

### 問い合わせ

防災対策担当 ☎内線241

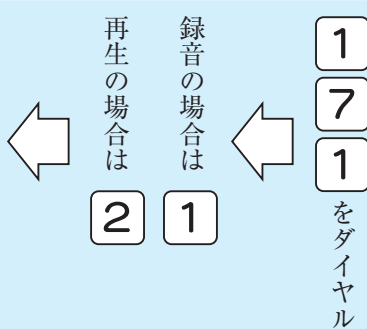


## 忘れてイナイ? 災害伝言171

大災害のときは、電話での通話が非常に困難になります。そこで災害伝言ダイヤルを活用しましょう。

### 利用方法

「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって録音再生を行ってください。



被災地内の電話番号を市外局番からダイヤル

### 問い合わせ

☎内線241 防災対策担当

## 消防団員の役割・仕事について

消防団員は、それぞれの地区において普段は本来の仕事に就きながら、火災をはじめとする災害出動のほかに、風水害時の海や河川における警戒業務など多岐にわたる業務を行います。

消防団は、住民の安全確保に努め、地域に密着した警防活動、防災啓発活動等に幅広い分野で活躍しており、地域社会における消防防災の中核として重要な役割を果たしております。

これからも消防団の活動についてご理解とご協力をお願いいたします。



### 問い合わせ

消防署 ☎(61)0911